

2020年度 経営内容のお知らせ

ミニディスクロージャー



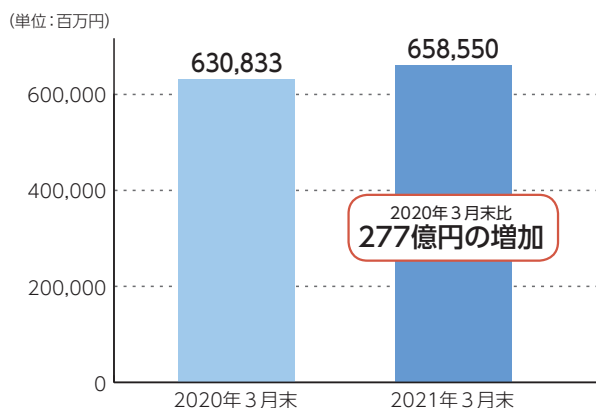
》 2021年3月期 業績の概要

※計数はすべて単体ベースで表示しています。

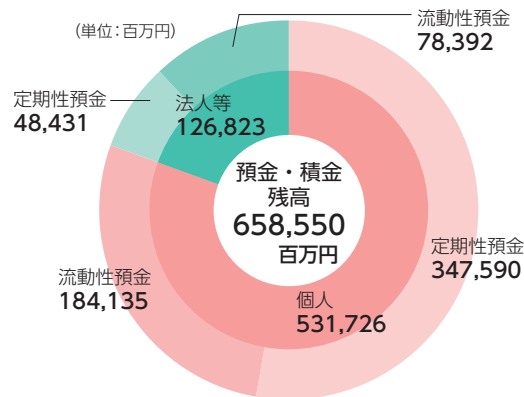
預金の状況

地域の皆さまからの信頼の証である預金残高は順調に増加しました。3月末残高は前期末比277億円増加し、6,585億円となりました。

預金・積金残高



人格別預金残高構成

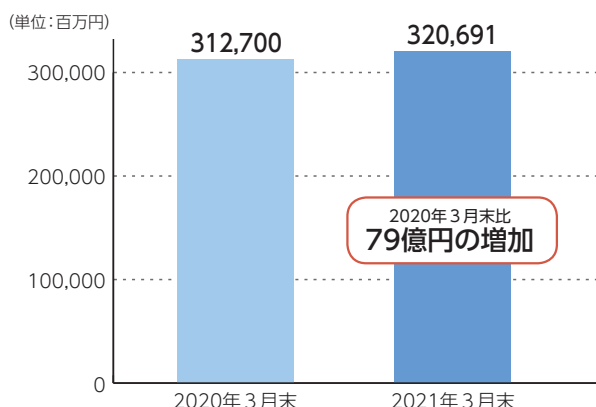


(注) 1. 「個人」には個人事業主を含んでいます。
2. 「法人等」には地方公共団体、金融機関等を含んでいます。

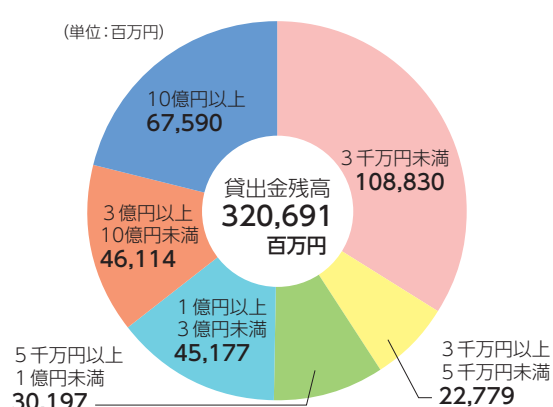
貸出金の状況

新型コロナウイルス感染症の影響を受けたお客さまに対する資金繰り支援を中心に適時適切な対応に努めました。3月末残高は前期末比79億円増加し、3,206億円となりました。

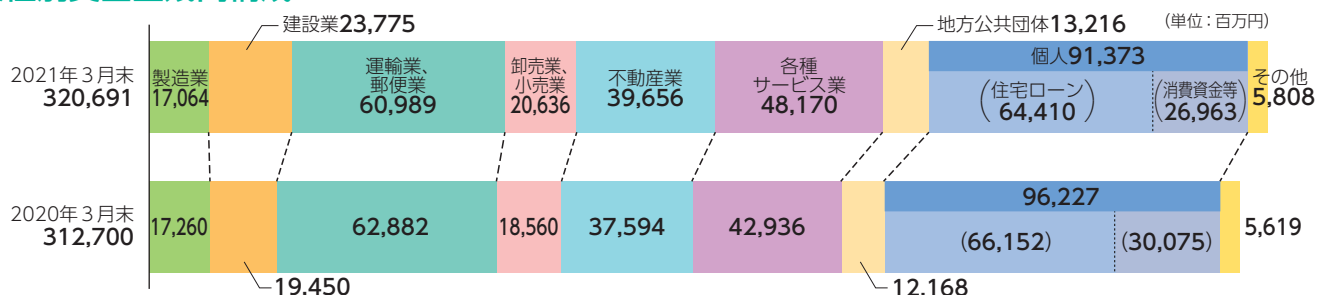
貸出金残高



金額階層別貸出金残高構成



業種別貸出金残高構成

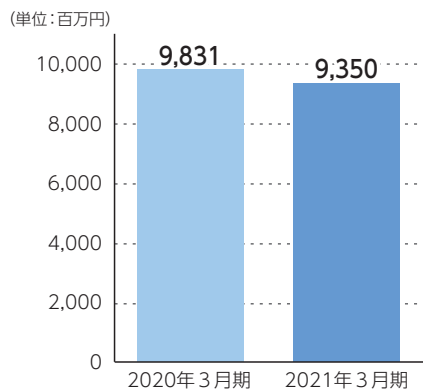


(注) 1. 「各種サービス業」は、「物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「宿泊業」「飲食業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「医療、福祉」「その他のサービス」です。
2. 「その他」は、「農業、林業」「漁業」「鉱業、採石業、砂利採取業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融業、保険業」です。

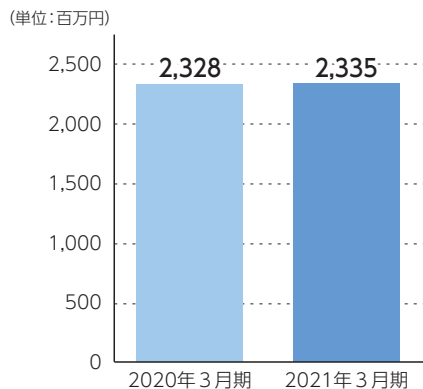
利益の状況

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、これまでどおりお客さま本位の活動に努め、地域の多くの方々に当金庫の金融機能・サービスをご利用いただきました。また、適切なリスク管理や経費管理などに努めたことから、引き続き安定した利益を計上することができました。

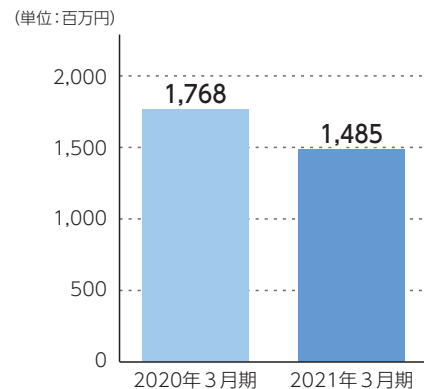
経常収益



経常利益



当期純利益



(単位:百万円)

	2020年3月期	2021年3月期
経常収益	9,831	9,350
業務純益	2,724	2,427
コア業務純益	1,768	1,666
コア業務純益 (投資信託解約損益を除く。)	1,768	1,666
経常利益	2,328	2,335
当期純利益	1,768	1,485



用語のご説明

●業務純益

預金金利利息などの資金調達費用をはじめとする業務費用から金銭の信託運用見合費用を控除した額を、貸出金利利息などの資金運用収益をはじめとする業務収益から差し引いて算出するもので、信用金庫の主な業務によって得た純利益を表しています。

●コア業務純益

業務純益に一般貸倒引当金繰入額を加え、国債等債券5勘定戻(国債等債券売却益、国債等債券償還益、国債等債券売却損、国債等債券償還損、国債等債券償却)を控除したもので、金融機関本来の事業活動のみの利益を表しています。



信用金庫は、地域のお客さまや会員の皆さまが、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営している相互扶助型の金融機関です。

事業地区や会員資格を限定し、地縁・人縁を大切にしながら事業を行っています。

■愛媛信用金庫の会員資格

当金庫の事業地区(愛媛県一円、香川県観音寺市・三豊市)に

お住まいの方

お勤めの方

事業所をお持ちの方※

転居予定の方

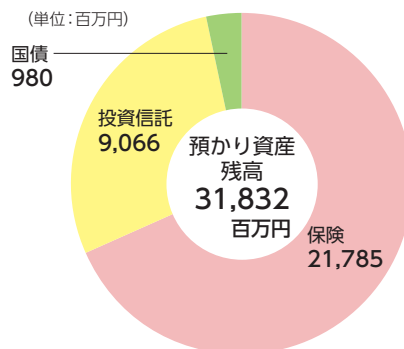
※個人事業者で常時使用する従業員数が300人を超える場合、または、法人事業者で常時使用する従業員数が300人を超え、かつ資本金が9億円を超える場合は、会員になることはできません。

預かり資産の状況

営業店職員とマネーアドバイザー（資産運用支援部所属の預かり資産専任職員）が連携しながら定期的にお客さまを訪問し、それぞれの資産状況や運用方針にあわせて、さまざまな情報を分かりやすくお伝えし、ニーズに合わせた商品をご紹介します活動に努めました。



預かり資産残高構成

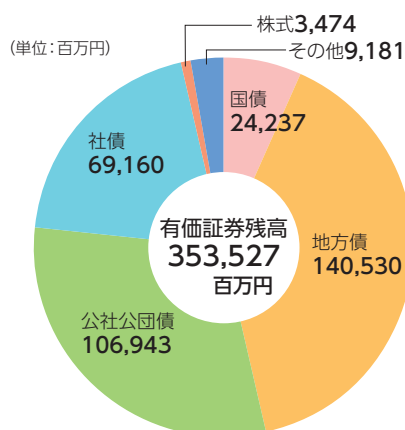


(注) 1. 「投資信託」は、3月末日における市場価格等に基づいています。
2. 「保険」は、「年金保険」「終身保険」「学資保険」です。

有価証券の状況

国債、地方債、政府保証債を中心に安全性・流動性に留意しながら運用しています。

有価証券残高構成



(注) 「社債」は、「金融債」及び、「事業債」です。
「その他」は、「外国証券」及び、「その他の証券」です。

有価証券の時価等情報

▼その他の有価証券

(単位: 百万円)

区 分	貸借対照表計上額	取得原価(償却原価)	評価差額
株 式	2,826	1,570	1,256
債 券	340,871	337,235	3,635
国 債	24,237	23,998	239
地 方 債	140,530	138,643	1,886
社 債	176,103	174,593	1,510
そ の 他	9,140	8,977	162
合 計	352,838	347,783	5,054

(注) 1. 貸借対照表計上額は、3月末日における市場価格等に基づいています。
2. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は含みません。

▼満期保有目的の債券

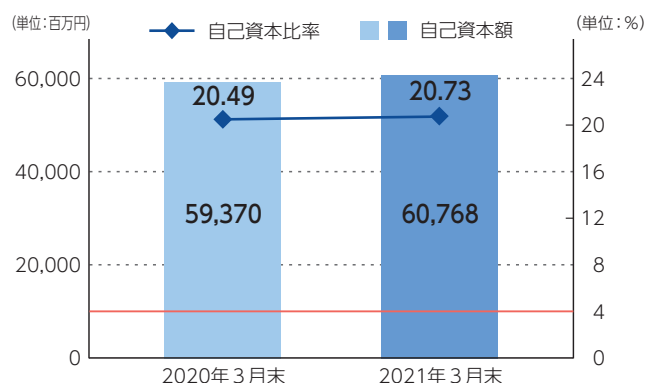
2021年3月末日において満期保有目的の債券は保有していません。

自己資本の状況

当金庫の自己資本は、会員の皆さまの出資金や、毎期安定した利益を計上して積み上げてきた内部留保等によって構成されています。

自己資本比率を算出する際の分母となる「リスク・アセット等」が増加しましたが、安定した利益を計上することができたことから、経営の健全性・安全性を示す自己資本比率は20.73%となり、国内基準（4%）を大幅に上回る高い水準を維持しています。

自己資本額・自己資本比率



(単位: 百万円)

	2020年3月末	2021年3月末
自 己 資 本 (A)	59,370	60,768
リスク・アセット等 (B)	289,684	293,031
自己資本比率 (A/B)	20.49%	20.73%

用語のご説明

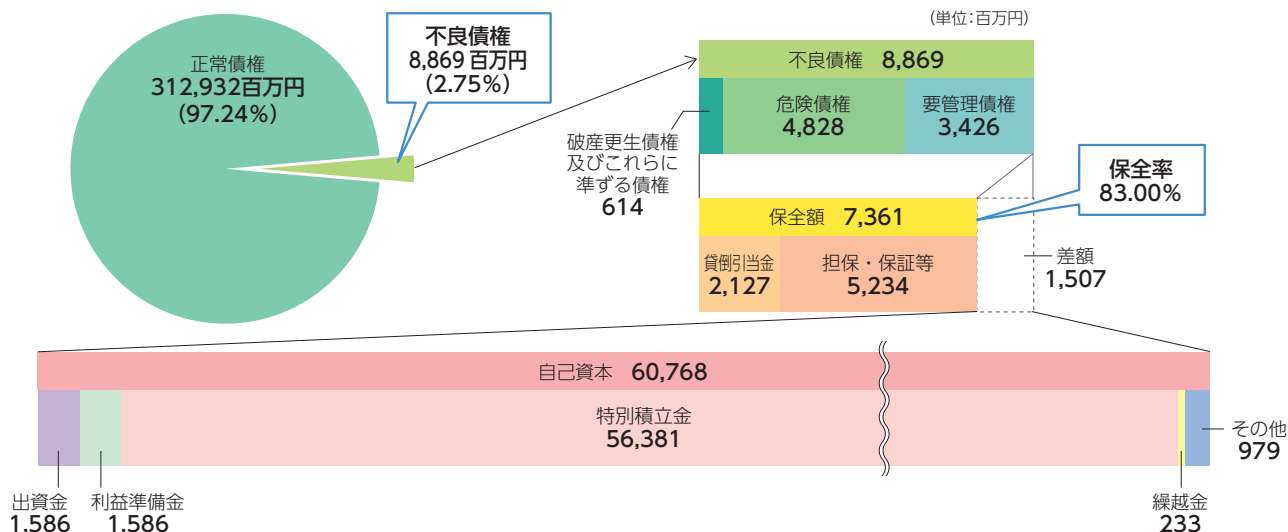
●自己資本比率

リスクに応じて計算された資産（＝リスク・アセット）に対する自己資本の割合を表すもので、金融機関の健全性を示す重要な指標とされています。

金融再生法に基づく開示債権の状況

お客さまの資金繰りの円滑化に努めるとともに、地域事業振興部を中心に本部と営業店が連携し、経営改善や経営力の強化に積極的に取り組みました。

当金庫では、厳格な基準のもと償却・引当を行い、不良債権に係る会計上の処理はすべて完了しています。不良債権額と保全額との差額1,507百万円に対し、当金庫の自己資本の構成の中心となっている内部留保額は58,202百万円であり、経営に与える影響は極めて少なく、健全性を十分に確保しています。



用語のご説明

●破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

●危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態・経営成績が悪化し、契約に従った債権元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

●要管理債権

「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。

●正常債権

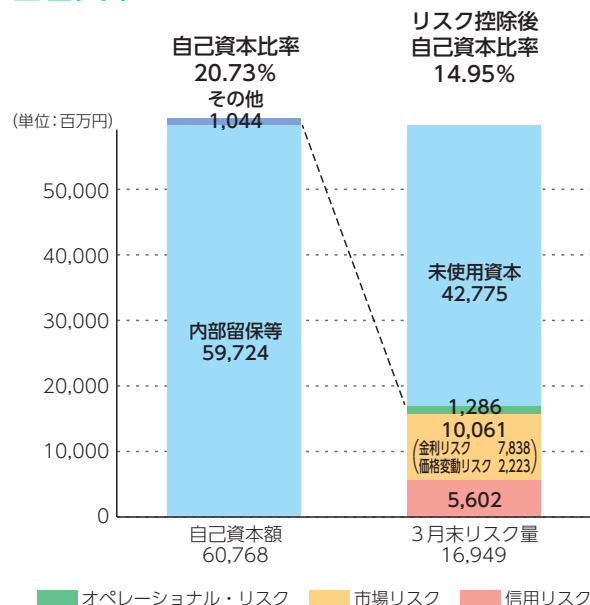
債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

統合的なリスク管理の状況

当金庫では、個々のリスクを一元的に管理し、経営体力（＝自己資本）の範囲内でコントロールすることで、経営の健全化及び収益力の向上に努めています。

3月末におけるリスク量がすべて顕在化したと仮定した場合の自己資本比率も14.95%であり、国内基準を大幅に上回る水準を維持しています。

自己資本に占めるリスク量



用語のご説明

●信用リスク

取引先の倒産や財務状況の悪化などにより、当金庫の資産の価値が減少ないし消失し、損失を受けるリスクのことです。

●金利リスク

資産と負債の金利または期間のミスマッチが存在している中で金利が変動することにより、利益が低下し損失を被るリスクのことです。

●価格変動リスク

有価証券の価格の変動に伴って資産価値が減少するリスクのことです。

●オペレーショナル・リスク

業務上における不適切な処理等で生じる事象により損失を受けるリスクのことです。当金庫では、事務リスク、システムリスク、その他のオペレーショナル・リスク（法務リスク、風評リスク、人的リスク、有形資産リスク等）を含む幅広いリスクとして捉えています。

財務諸表・主要な経営指標の推移

第71期貸借対照表 (2021年3月31日現在)

(単位:百万円)			
科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
現金	4,419	預金積金	658,550
預け金	51,448	譲渡性預金	4,840
有価証券	353,527	借入金	4,220
貸出金	320,691	コールマネー	5,811
外国為替	76	その他負債	1,492
その他資産	3,749	退職給付引当金	1,224
有形固定資産	11,147	その他の引当金等	338
無形固定資産	71	繰延税金負債	662
債務保証見返	947	再評価に係る繰延税金負債	692
貸倒引当金	△ 2,941	債務保証	947
		負 債 の 部 合 計	678,779
		(純 資 産 の 部)	
		出資金	1,586
		利益剰余金	58,263
		処分未済持分	△ 64
		会員勘定合計	59,785
		その他有価証券評価差額金	3,656
		土地再評価差額金	914
		評価・換算差額等合計	4,571
		純 資 産 の 部 合 計	64,356
資 産 の 部 合 計	743,136	負債及び純資産の部合計	743,136

第71期損益計算書 (2020年4月1日から2021年3月31日まで)

(単位:千円)	
科 目	金 額
経常収益	9,350,025
資金運用収益	7,863,364
貸出金利息	5,728,426
預け金利息	105,268
有価証券利息配当金	1,958,942
その他の受入利息	70,726
役務取引等収益	632,591
受入為替手数料	237,399
その他の役務収益	395,191
その他業務収益	830,914
外国為替売買益	1,991
国債等債券売却益	788,892
その他の業務収益	40,030
その他経常収益	23,155
貸倒引当金戻入益	3,026
償却債権取立益	10,439
株式等売却益	3,941
その他の経常収益	5,747
経常費用	7,014,804
資金調達費用	211,101
預金利息	174,535
給付補填備金繰入額	5,170
譲渡性預金利息	635
借入金利息	18,230
コールマネー利息	12,199
その他の支払利息	329
役務取引等費用	848,639
支払為替手数料	96,637
その他の役務費用	752,001
その他業務費用	32,941
国債等債券売却損	28,327
その他の業務費用	4,613
経費	5,820,202
人件費	3,237,992
物件費	2,476,372
税金	105,837
その他経常費用	101,920
貸出金償却	1,089
株式等売却損	45,748
その他資産償却	40
その他の経常費用	55,041
経常利益	2,335,220
特別利益	—
特別損失	244,082
税引前当期純利益	2,091,138
法人税、住民税及び事業税	515,487
法人税等調整額	90,357
法人税等合計	605,845
当期純利益	1,485,292

主要な経営指標の推移

(単位:百万円)			
	2018年度	2019年度	2020年度
預金積金残高	624,317	630,833	658,550
貸出金残高	305,040	312,700	320,691
経常収益	10,127	9,831	9,350
経常利益	2,307	2,328	2,335
当期純利益	1,752	1,768	1,485
出資総額	1,631	1,609	1,586
自己資本比率	21.29%	20.49%	20.73%
不良債権比率	2.87%	2.58%	2.75%

》 2020年度トピックス

2020年

4月1日 「財務体質強靱化保証（ホールド5000）」取扱い開始

6月15日 信用金庫の日

信用金庫業界では「信用金庫法」が昭和26年6月15日に公布・施行されたことにちなみ、6月15日を「信用金庫の日」と定めています。全国の信用金庫では毎年、お客さまへの感謝の気持ちを込めて、清掃活動などの地域貢献活動を展開しています。



18日 第70期通常総代会

7月1日 「後見制度支援預金」取扱い開始
「生活資金支援ローン」取扱い開始

8月3日 昼休業時間帯の導入（立花支店、湊町支店、本町支店、今治立花支店、港南支店、江戸岡支店）
※本町支店と江戸岡支店は、2020年11月に今治支店と八幡浜支店へ統合しました。

29日 松前支店をリニューアルオープンし、エミフルMASAKI支店と統合

P.9

9月18日 第5期女性経営者塾成果発表会 開催



10月3日 「松山市とよい仕事おこしフェア実行委員会との包括的連携に関する協定」締結

P.8

9日 第6期女性経営者塾 開講

11月27日 本町支店を今治支店、江戸岡支店を八幡浜支店へ統合

P.9

12月1日 土居田支店に昼休業時間帯を導入

2021年

1月4日 第27回懸賞金付定期預金「開運大吉くん」取扱い開始（～3月31日）

14日 当金庫が推薦した松山市「道後温泉活性化事業」が信金中央金庫「SCBふるさと応援団」に選出

P.8



2月22日 特殊詐欺被害拡大防止のためATM引出制限を強化

3月12日 防犯カメラ「見守りカメラ」を本店に設置



事業を営むお客さまへの支援

お客さまの販路拡大や様々なマッチングのお手伝いをするため、信用金庫の強みである「つなぐ力」を活用し、全国各地やオンラインで開催されるビジネスマッチングなどへの出展を支援しています。

コロナ禍復興応援商談会へ参加支援

新型コロナウイルスの影響を受けている取引先企業に対して、販路創出の機会を提供するため、「よい仕事おこしネットワーク」のサイト内で、信用金庫の取引先企業と百貨店等のバイヤーとの非対面の商談会が開催され、当金庫の取引先5社の参加支援を行いました。



全国の信用金庫のお客さまを繋ぐ
「よい仕事おこしネットワーク」
<https://www.yoishigotonet.com/>



お取り寄せガイドへの掲載をサポート

「よい仕事おこしネットワーク」のサイト内に、一般の方々もお買い求めいただける「お取り寄せガイド」が新設され、当金庫取引先の商品の掲載をサポートしました。



オンライン・ビジネスフェア「しんきんフードEXPO 2020」への出展支援

信金中央金庫主催の食品製造業を対象としたビジネスフェアに当金庫のお客さま3社の出展をサポートしました。



創業から成長期、安定期まで、事業のライフサイクルに応じたさまざまな活動を実施しています。

第6期女性経営者塾開講



「良い会社をつくりたい」と考える女性経営者、経営幹部の方々を対象とした経営講座で、自社の課題解決に取り組みます。

第17回創業セミナー開催



さまざまな分野の専門家による「創業に対する考え方・必要な手続き」を学びます。

第4期経営力向上塾開催



経営革新に関心のある経営者や後継者、経営幹部の方々を対象とし、自社の課題解決に取り組むとともに幅広い人的交流を行っています。

マーケティング支援活動



小売業・卸売業・サービス業の事業者さまを対象に、販売戦略の策定や販路拡大への取組み支援などさまざまなマーケティング支援を行っています。

職場改善支援活動



製造業などの事業者さまを対象に、工場や作業場の生産管理や原価管理の改善支援を行っています。

「事業承継支援に係る連携協定」を締結



四国税理士会愛媛県支部連合会と連携し、特例承継計画策定の支援をするなど、親族内承継にかかるサポートをします。

コンサルティング事例集に詳しい内容を掲載しています

事業に関するコンサルティングの事例や、実際のお客さまの声を紹介しています。詳細については地域事業振興部〔089-946-1121〕までお問い合わせください。2021年版の発行は、7月末を予定しています。



地域のイベントへの参加やボランティア活動・地域活性化への取り組み

松山市とよい仕事おこしフェア 実行委員会が「包括的連携に 関する協定」を締結

当金庫も実行委員を務め、「よい仕事おこしネットワーク」を運営する標記委員会と松山市が、地域活性化と産業の振興を図り、地域社会の発展に寄与するための包括的連携を締結しました。

「よい仕事おこしネットワーク」とは、全国約7,000の信用金庫網を活用し、「毎日が商談会」をテーマに地域の枠組みを超えたマッチングや販路開拓、経営課題の解決を目的としています。各信用金庫がお客さまから事業に関するご要望を受け、事務局の専属コーディネーターが全国の信用金庫や大手・中小のバイヤーに情報を発信し、各種の要望を解決するための情報をつなぎます。当金庫では、地域事業振興部がネットワークへの情報発信や仲介を担当しています。



信金中央金庫の創立70周年事業「SCBふるさと応援団」の寄附対象事業に、当金庫が推薦した松山市の道後温泉活性化事業が選出され、信金中央金庫から松山市へ1,000万円の寄附が決定しました。



SCBふるさと応援団

信金中央金庫の創立70周年を記念して、地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の仕組みを活用した寄附で、地域の課題解決や持続可能な社会の実現に資する地域創生事業を地元の信用金庫と共に応援し、地域社会の発展に貢献することを目的に実施する事業です。

地域のお祭りへの参加



リニューアルオープンした松前支店で宗意原獅子舞保存会さまに舞っていただきました。

献血



毎年、献血活動に参加しています。

ロビー展



各営業店でロビー展を開催しています。

インターンシップ



当金庫の就業体験を目的として開催しています。

芋ほり体験



営業店の花壇で育てたサツマイモを園児と一緒に収穫しました。

もちつき大会



地域の一員として、地域活性化活動等に積極的に参加しています。

松山まつりon Web



松山まつりon Webに参加し、連・チーム部門でベストムービー賞に選ばれました。

庫内報「愛信だより」にてお取引先紹介を始めました



お客さま自慢の商品を掲載しています。

コンサルティング機能の強化に向けた店舗リニューアル・店舗統合

松前支店リニューアルオープン！

2020年8月31日に店舗機能の充実や利便性の向上、耐震強化を目的として、松前支店を新築移転し、エミフルMASAKI支店と統合しました。新店舗には、非常用自家発電装置や太陽光発電設備、蓄電池等を設置するなど、災害時に一時的な避難場所となる機能を持ち合わせています。また、各種セミナー等の開催が可能な開放感のあるロビースペースを確保しています。



店舗統合

2020年11月27日に本町支店を今治支店、江戸岡支店を八幡浜支店へ統合しました。経営資源の有効活用により、業務効率化を図り、一層のサービス向上に努めてまいります。



今後の店舗リニューアル等について

大洲支店リニューアル！

2021年5月31日に大洲支店がリニューアルオープンします。工事期間中は、ご不便・ご迷惑をおかけいたしました。装いも新たに、これまで以上に地域の皆さまのお役に立てるよう努めてまいります。

仮店舗での営業は5月28日で終了します。



今治南支店オープン予定

2021年秋、喜田村支店が移転・名称変更し、「今治南支店」としてオープンする予定です。また、今治立花支店を今治南支店へ統合します。



地鎮祭の様子



一部店舗の業務取扱時間変更

下記の5店舗について昼休業時間帯（午前11時30分から午後0時30分までの1時間）を導入しました。

対象店舗

立花支店、湊町支店、今治立花支店、土居田支店、港南支店

業務取扱時間

〈変更後〉午前9時から午前11時30分および
午後0時30分から午後3時
〈変更前〉午前9時から午後3時

お客さまに安心してご利用いただくために

ATM引出制限対応

高齢者を狙った特殊詐欺被害の拡大防止のため、年齢や金額など一定の条件でATM出金の制限を強化しました。

県内でも警察官や金融機関職員等を騙って電話をかけ、取引金融機関のキャッシュカードの暗証番号を聞き出しキャッシュカードをだまし取り、預金を引き出す犯罪が県内でも多数発生しています。金融機関職員や警察官等が暗証番号をお尋ねしたり、キャッシュカードをお預かりすることはありません。もし、そのような案内の電話があった場合は、ご家族、警察、金融機関にご相談ください。



警察と連携し、強盗事件や特殊詐欺への対応訓練を定期的実施しています。



防犯カメラ「見守りカメラ」の設置

愛媛県警からの働きかけにより、本店営業部に「見守りカメラ」を設置いたしました。店舗の外壁に設置することで、地域の犯罪抑止や災害発生時の状況把握などの効果が期待できます。今後も各営業店に順次設置予定です。

マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策

マネー・ローンダリング及びテロ資金供与とは、犯罪や不当な取引で得た資金を、正当な取引で得たように見せかけたり、多数の金融機関等を転々とさせることで、資金の出所を分からなくしたりする行為や、テロの実行支援等を目的としてテロリストに資金を渡す行為などを指します。

当金庫は、複雑化・高度化するマネロン・テロ資金供与の手口に対応し、有効に防止するため、さまざまな対策を講じています。今後も、金融庁が2021年2月に改正したガイドライン等を踏まえ、実効的な態勢を整備してまいります。



お客さまへのお願い事項

- ・特定の国に居住・所在している方等との取引等をされる場合は、資産・収入の状況等を確認させていただくことがあり、その際に、従来とは異なる資料のご提示や質問へのご回答をお願いする場合があります。
- ・お客さまとの取引の内容、状況等に応じて、過去にご確認させていただいた、お客さまの氏名・住所・生年月日や、取引の目的等を窓口や郵便等により再度ご確認させていただく場合があります。また、その際に各種書面等のご提示をお願いする場合があります。
- ・各種質問へのご回答やご依頼した資料のご提出について、適切にご対応いただけない場合、やむを得ず新規のお取引をお断りさせていただくことがあります。また、既にお取引いただいているお客さまにおかれましては、やむを得ずお取引を制限等させていただく場合があります。
- ・追加のご確認等のため、通常よりお手続きのお時間をいただく場合があります。

犯罪組織やテロ組織への資金流入を未然に防ぎ、安全で利便性が高い金融サービスを維持するため、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

お客さまに安心してご利用いただくために

非常時における安定的な金融サービスの提供を目指して

大規模地震や火災等のあらゆる災害に備え、様々な想定シナリオに基づく訓練を定期的実施しています。



防災士の養成

役職員の防災意識の高揚を図り、災害発生時には地域の一人として率先して活動することで、地域の減災・防災の実効性を高められるよう、防災に関する正しい知識と技能を有する防災士の育成に取り組んでいます。2020年度は、新たに6名の職員が防災士の資格を取得し、全体では148名の職員が防災士の資格を保有しています。



「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」に係る取組状況について

当金庫は、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」に基づく成果指標（KPI）を定期的に公表するとともに、適切な取組みができているか検証しています。

今後も、「お客さまの話を聞く」「お客さまのことを知る」「お客さまの気持ちを理解する」などの丁寧なプロセスを踏み、お客さまの安定的な資産形成のお手伝いができるよう努めてまいります。

なお、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」および本方針に基づく成果概要（KPI）は当金庫ホームページに掲載しています。



詳しくはお近くの営業店へお問い合わせください。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けられたお客さまへ

新型コロナウイルス感染症により影響を受けた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

当金庫は、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けている皆さまの、事業の継続および生活に必要な資金の借入・貸付条件の変更に係る相談を受け付けています。お取引店または最寄りの店舗にご相談ください。



〒790-0002 松山市二番町4丁目2番地11
TEL 089-946-1111 (代表)
<http://www.shinkin.co.jp/ehime/>



本資料は、信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第21条に基づくディスクロージャー誌ではございません。詳細につきましては、7月下旬発行予定の「ディスクロージャー 2021」をご覧ください。

見やすい紙面作りのため
ユニバーサルデザインフォントを
使用しています。